

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-230348

(43)Date of publication of application : 16.08.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-026062

(71)Applicant : NTT COMMUNICATIONS KK

(22)Date of filing : 01.02.2001

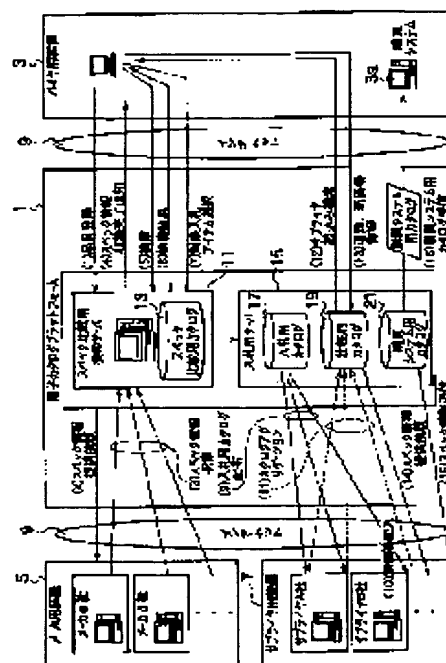
(72)Inventor : MAEDA KOICHI
TSUNODA SUSUMU
KASUGA RYOICHI
FUSHIMI OSAMU

(54) ELECTRONIC BIDDING AGENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an electronic bidding agent system which can efficiently and speedily select the best makers and suppliers for a large number of objects to be bid on.

SOLUTION: An electronic catalog platform selects candidates for a supplier according to the total points of respective suppliers calculated by applying the values of respective bid parameters entered into a bid catalog for a catalog for bidding generated from bidden object information to the calculation expression of a template for supplier selection and generates a catalog for their comparison, calculates the total points of the respective supplier candidates according to supplier candidate narrowing-down information from a buyer's device and the template to select candidates for a rebidding supplier, and repeats the processing while regarding as the bidding catalog a rebidding catalog for a catalog for rebidding generated by integrating and processing the bidding catalog, thereby selecting the best supplier.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.05.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 05.10.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2004-22497

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 01.11.2004

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-230348

(P2002-230348A)

(43)公開日 平成14年8月16日(2002.8.16)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
G 0 6 F 17/60	3 1 6	G 0 6 F 17/60	3 1 6
	Z E C		Z E C
	3 1 4		3 1 4
	3 1 8		3 1 8 G
	3 2 8		3 2 8

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 15 頁)

(21)出願番号 特願2001-26062(P2001-26062)

(22)出願日 平成13年2月1日(2001.2.1)

(71)出願人 399035766

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ
株式会社

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号

(72)発明者 前田 幸一

東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 エ
ヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株
式会社内

(74)代理人 100083806

弁理士 三好 秀和 (外4名)

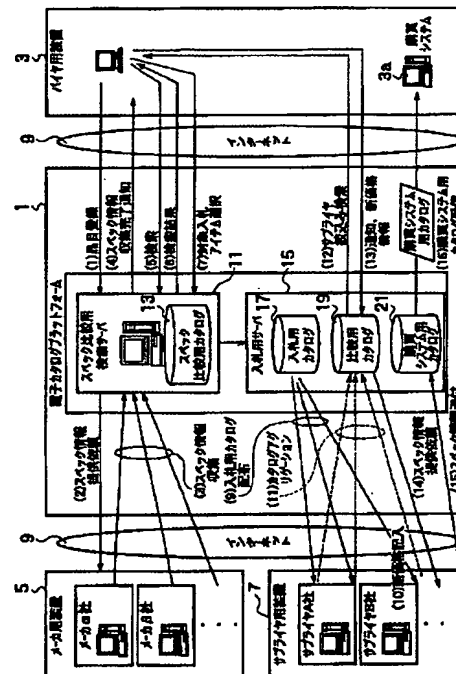
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 電子入札代行システム

(57)【要約】

【課題】 大量品目の入札対象に対しても効率的かつ迅速に最適なメーカやサプライヤを選定することができる電子入札代行システムを提供する。

【解決手段】 電子カタログプラットフォームは入札対象情報から作成した入札用カタログに対する入札カタログに記載の各入札パラメータの値をサプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用して算出した各サプライヤの合計ポイントに基づきサプライヤ候補を選定し、その比較用カタログを作成し、バイヤ用装置からのサプライヤ候補絞り込み情報とテンプレートに基づき各サプライヤ候補の合計ポイントを算出し、再入札サプライヤ候補を選定し、その入札カタログを統合加工して作成した再入札用カタログに対する再入札カタログを前記入札カタログと見なして、上記処理を繰り返し行うことにより最適なサプライヤを選定する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 バイヤからネットワークを介して入力される入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって、
 入札対象に対する各入札パラメータの値を計算する計算式、各入札パラメータの値を区分けた複数のレンジ、各入札パラメータの各レンジにおける値を評価するポイント、および各入札パラメータの値の最低ラインを設定した閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートと、

前記入札対象に対して各サプライヤから提供される入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値を前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する合計ポイント算出手段と、

この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントおよび前記閾値に基づきサプライヤを選定するサプライヤ選定手段とを有することを特徴とする電子入札代行システム。

【請求項2】 バイヤからネットワークを介して入力される入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって、
 入札対象に対する各入札パラメータの値を計算する計算式、各入札パラメータの値を区分けた複数のレンジ、各入札パラメータの各レンジにおける値を評価するポイント、および各入札パラメータの値の最低ラインを設定した閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートと、

前記入札対象に対して各サプライヤがそれぞれのサプライヤ用装置からネットワークを介して提供する各入札カタログ情報に記載されている各入札パラメータ毎の値の各サプライヤ毎の分布を作成する分布作成手段と、

この作成された各入札パラメータの値の分布の偏差値および広がりを含む要素に基づき前記サプライヤ選定用テンプレートのレンジ、ポイント、閾値を補正する補正手段と、

前記入札対象に対して各サプライヤから提供される入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値を前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する合計ポイント算出手段と、

この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントおよび前記閾値に基づきサプライヤを選定するサプライヤ選定手段とを有することを特徴とする電子入札代行システム。

【請求項3】 バイヤがバイヤ用装置からネットワークを介して入力する入札対象情報を電子カタログプラットフォームで受信し、前記入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき前記電子カタログプラットフォームにおいて最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって、

前記電子カタログプラットフォームは、

入札対象に対する各入札パラメータの値を計算する計算式、各入札パラメータの値を区分けた複数のレンジ、各入札パラメータの各レンジにおける値を評価するポイント、および各入札パラメータの値の最低ラインを設定した閾値を各入札対象毎または各入札対象グループ毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートと、

バイヤがバイヤ用装置からネットワークを介して入力する入札対象情報を受信する入札情報受信手段と、

この受信した入札対象情報に基づき入札用カタログを作成する入札用カタログ作成手段と、

本システムと各サプライヤ用装置との通信により前記入札用カタログをネットワークを介して各サプライヤ用装置に送信する入札用カタログ送信手段と、

前記入札用カタログに対する入札カタログを各サプライヤ用装置からネットワークを介して受信する入札カタログ受信手段と、

この受信した入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値を前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出し、この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントおよび前記閾値に基づきサプライヤ候補を選定し、この選定したサプライヤ候補の入札カタログを統合および加工して比較用カタログを作成する比較用カタログ作成手段と、

本システムと前記バイヤ用装置との通信により前記比較用カタログをネットワークを介してバイヤ用装置に送信する比較用カタログ送信手段とを有することを特徴とする電子入札代行システム。

【請求項4】 バイヤがバイヤ用装置からネットワークを介して入力する入札対象情報を電子カタログプラットフォームで受信し、前記入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき前記電子カタログプラットフォームにおいて最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって

て、

前記バイヤ用装置は、

前記比較用カタログを受信し、この比較用カタログに記載された各入札パラメータの内容に基づき前記サプライヤ候補を更に絞り込むための絞り込み情報を電子カタログプラットフォームに送信して再入札を依頼する再入札依頼手段を有し、

前記電子カタログプラットフォームは、

バイヤ用装置から前記絞り込み情報を受信し、この絞り込み情報と前記サプライヤ選定用テンプレートに基づき前記サプライヤ候補の各々の合計ポイントを算出し、この各サプライヤ候補の合計ポイントに基づき再入札サプライヤ候補を選定し、この選定した再入札サプライヤ候補の入札カタログを統合および加工して再入札用カタログを作成する再入札用カタログ作成手段と、

本システムと前記再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置との通信により前記再入札用カタログをネットワークを介して各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置に送信する再入札用カタログ送信手段と、

前記再入札用カタログに対する再入札カタログを各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置からネットワークを介して受信する再入札カタログ受信手段と、

この受信した再入札カタログを前記入札カタログと見なして、前記比較用カタログ作成手段、比較用カタログ送信手段、再入札依頼手段、再入札用カタログ作成手段、再入札カタログ送信手段、再入札カタログ受信手段で実施される処理に適用して、該処理を繰り返し行うことにより、バイヤの入札対象に対して最適なサプライヤを選定する最適サプライヤ選定手段と、

この選定された最適なサプライヤの入札カタログに基づき落札カタログを作成する落札カタログ作成手段と、

入札対象カタログ情報、スペック情報、画像情報に基づいて購買システム用カタログを作成する購買システム用カタログ作成手段とを更に有することを特徴とする電子入札代行システム。

【請求項5】 複数のメータのスペックカタログ情報に基づき最適なメータを選定すべく支援するとともに、バイヤからネットワークを介して入力される入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって、

バイヤから受信した入札対象情報に基づきスペック比較用カタログを作成し、本システムと各メータ用装置との通信により前記スペック比較用カタログをネットワークを介して各メータ用装置に送信するスペック比較用カタログ作成手段と、

前記スペック比較用カタログに対して各メータでデータを入力したデータ入力済みスペック比較用カタログを各メータからネットワークを介して受信し、この受信した

各メータのデータ入力済みスペック比較用カタログを統合および加工し、統合加工済み比較用カタログをバイヤに供給する統合加工済み比較用カタログ作成手段と、

この統合加工済み比較用カタログに基づきバイヤにおいて当該比較用カタログに記載されている情報を基にメータの絞り込みを行ってメータを選定した結果を受け取って、選定結果カタログを作成し、各メータに対して該選定結果カタログを閲覧可能にする選定結果カタログ作成手段と、

10 前記入札対象情報に基づき作成した入札用カタログを本システムと各サプライヤ用装置との通信によりネットワークを介して前記選定されたメータの入札対象を供給している各サプライヤ用装置に送信する入札用カタログ送信手段と、

前記入札用カタログに対する各サプライヤ用装置から受信した入札カタログに記載されている各入札パラメータに基づきサプライヤ候補を選定し、この選定したサプライヤ候補の入札カタログを統合および加工して比較用カタログを作成する比較用カタログ作成手段と、

20 本システムと前記バイヤ用装置との通信により前記比較用カタログをネットワークを介してバイヤ用装置に送信し、この比較用カタログに記載された各入札パラメータの内容に基づき前記サプライヤ候補を更に絞り込むための絞り込み情報とともにバイヤ用装置から送信される再入札依頼を受信し、この絞り込み情報に基づき前記サプライヤ候補から再入札サプライヤ候補を選定し、この選定した再入札サプライヤ候補の入札カタログを統合および加工して再入札用カタログを作成する再入札用カタログ作成手段と、

30 本システムと前記再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置との通信により前記再入札用カタログをネットワークを介して各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置に送信し、この再入札用カタログに対する再入札カタログを各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置からネットワークを介して受信する再入札カタログ受信手段と、

この受信した再入札カタログを前記入札カタログと見なして、前記比較用カタログ作成手段、再入札用カタログ作成手段、再入札カタログ受信手段で実施される処理に適用して、該処理を繰り返し行うことにより、バイヤの入札対象に対して最適なサプライヤを選定する最適サプライヤ選定手段と、

この選定された最適なサプライヤの入札カタログに基づき落札カタログを作成する落札カタログ作成手段と、入札対象カタログ情報、スペック情報、画像情報に基づいて購買システム用カタログを作成する購買システム用カタログ作成手段とを有することを特徴とする電子入札代行システム。

【請求項6】 前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用される各入札パラメータの値を基本して関係

する値は、前記入札対象に対する各サプライヤからの今回の入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を少なくとも含み、必要により前回の入札カタログおよび今回の再入札カタログに記載されている各入札パラメータの値、過去の実績データ、バイヤによるサプライヤ選定履歴データ、落札カタログデータ、バイヤの販売実績データ、サプライヤの販売実績データの1つ以上を必要により含むことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の電子入札代行システム。

【請求項7】 前記入札パラメータは、入札対象の価格、割引率、納期の少なくともいずれか1つ以上を含むことを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載の電子入札代行システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、複数のメータのスペックカタログ情報に基づき最適なメーカを選定すべく支援するとともに、バイヤからの入札対象に対して入札を行う複数のサプライヤから最適なサプライヤを選定すべく支援し、更に購買システム用カタログを作成する電子入札代行システムに関し、詳しくは、バイヤがバイヤ用装置からネットワークを介して入力する入札対象情報を電子カタログプラットフォームで受信し、入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき電子カタログプラットフォームにおいて最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、インターネットを利用したオークションやリバースオークションなどの入札システムやサービスは存在しているが、1品目単位や少数品目単位で入札を実施しているため、例えば大企業で行う数万品目規模のような大量品目の一括入札を行うには、膨大な入札回数が必要となる。また、大量品目の一括は、従来紙ベースのオフラインで行われている。

【0003】更に、入札対象製品に対して入札する複数のメーカやサプライヤから適切なものを選定するにあたっては、単なる価格比較で選定したり、またはバイヤの購買部門の専門家が経験と勘に頼って選定している。

【0004】また、メーカやサプライヤの選定後の結果公示は、例えばFAXや郵便などによるオフラインで各メーカやサプライヤ毎に行われている。更に、入札対象製品の決定後の入札対象に用いるカタログ作成は、紙ベースで行われ、莫大な期間と費用がかかっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来の入札システムは、一般に1品目単位や少数品目単位で入札を実施しているため、数万品目規模のような大量品目の一括入札を行うには、膨大な入札回数が必要とな

り、不向きであり、非効率的かつ非経済的であるという問題がある。

【0006】また、大量品目の一括入札対象製品の選定は、従来紙ベースのオフラインで行われていて、膨大な期間とコストがかかるという問題がある。

【0007】更に、入札対象製品に対して入札する複数のメーカやサプライヤから適切なものを選定するにあたっては、従来、単なる価格比較で選定したり、またはバイヤの購買部門の専門家が経験と勘に頼って選定しているため、最適なメーカやサプライヤを適確に選定することができないという問題がある。

【0008】また、メーカやサプライヤの選定後の結果公示は、従来、例えばFAXや郵便などによるオフラインで各メーカやサプライヤ毎に通知する必要があるため、作業が煩雑であるという問題があり、更に入札対象製品の決定後の入札対象に用いるカタログ作成は、紙ベースで行われているため、莫大な期間と費用がかかるという問題がある。

【0009】本発明は、上記に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、大量品目の入札対象に対しても効率的かつ迅速に最適なメーカやサプライヤを選定するとともに、購買システム用カタログを作成することができる電子入札代行システムを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、請求項1記載の本発明は、バイヤからネットワークを介して入力される入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって、入札対象に対する各入札パラメータの値を計算する計算式、各入札パラメータの値を区分けした複数のレンジ、各入札パラメータの各レンジにおける値を評価するポイント、および各入札パラメータの値の最低ラインを設定した閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートと、前記入札対象に対して各サプライヤから提供される入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値を前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する合計ポイント算出手段と、この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントおよび前記閾値に基づきサプライヤを選定するサプライヤ選定手段とを有することを要旨とする。

【0011】請求項1記載の本発明にあっては、各入札パラメータの計算式、レンジ、評価ポイント、閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートを設け、このサプライヤ選定用テンプレートの計算式

に各サプライヤからの各入札パラメータの値を基本として関係する値を適用して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出し、この各サプライヤ毎の合計ポイントおよび閾値に基づきサプライヤを選定するため、従来のように価格のみの比較や経験と勘に頼ったサプライヤの選定でなく、サプライヤ選定用テンプレートによりサプライヤの絞込みを適確に行い、最適なサプライヤを効率的かつ迅速に選択できるとともに、また従来のような1品目単位や少数品目単位でなく、例えば数万品目規模のような大量品目の一括入札も迅速かつ効率的に行うことができる。

【0012】請求項2記載の本発明は、バイヤからネットワークを介して入力される入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって、入札対象に対する各入札パラメータの値を計算する計算式、各入札パラメータの値を区分けした複数のレンジ、各入札パラメータの各レンジにおける値を評価するポイント、および各入札パラメータの値の最低ラインを設定した閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートと、前記入札対象に対して各サプライヤがそれぞれのサプライヤ用装置からネットワークを介して提供する各入札カタログ情報に記載されている各入札パラメータの値の各サプライヤ毎の分布を作成する分布作成手段と、この作成された各入札パラメータの値の分布の偏差値および広がりを含む要素に基づき前記サプライヤ選定用テンプレートのレンジ、ポイント、閾値を補正する補正手段と、前記入札対象に対して各サプライヤから提供される入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値を前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する合計ポイント算出手段と、この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントおよび前記閾値に基づきサプライヤを選定するサプライヤ選定手段とを有することを要旨とする。

【0013】請求項2記載の本発明にあっては、各入札パラメータの計算式、レンジ、評価ポイント、閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートを設け、このサプライヤ選定用テンプレートを各サプライヤの各入札パラメータ毎の分布の偏差値および広がりを含む要素に基づき補正し、このサプライヤ選定用テンプレートの計算式に各サプライヤからの各入札パラメータの値を基本として関係する値を適用して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出し、この各サプライヤ毎の合計ポイントおよび閾値に基づきサプライヤを選定するため、従来のように価格のみの比較や経験と勘に頼ったサ

プライヤの選定でなく、サプライヤ選定用テンプレートによりサプライヤの絞込みを適確に行い、最適なサプライヤを効率的かつ迅速に選択できるとともに、また従来のような1品目単位や少数品目単位でなく、例えば数万品目規模のような大量品目の一括入札も迅速かつ効率的に行うことができる。

【0014】また、請求項3記載の本発明は、バイヤがバイヤ用装置からネットワークを介して入力する入札対象情報を電子カタログプラットフォームで受信し、前記入札対象情報に対して入札を行う複数のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを介して入力する各入札カタログ情報に基づき前記電子カタログプラットフォームにおいて最適なサプライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであって、前記電子カタログプラットフォームは、入札対象に対する各入札パラメータの値を計算する計算式、各入札パラメータの値を区分けした複数のレンジ、各入札パラメータの各レンジにおける値を評価するポイント、および各入札パラメータの値の最低ラインを設定した閾値を各入札対象毎または各入札対象グループ毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートと、バイヤがバイヤ用装置からネットワークを介して入力する入札対象情報を受信する入札情報受信手段と、この受信した入札対象情報に基づき入札用カタログを作成する入札用カタログ作成手段と、本システムと各サプライヤ用装置との通信により前記入札用カタログをネットワークを介して各サプライヤ用装置に送信する入札用カタログ送信手段と、前記入札用カタログに対する入札カタログを各サプライヤ用装置からネットワークを介して受信する入札カタログ受信手段と、この受信した入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値を前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出し、この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントおよび前記閾値に基づきサプライヤ候補を選定し、この選定したサプライヤ候補の入札カタログを統合および加工して比較用カタログを作成する比較用カタログ作成手段と、本システムと前記バイヤ用装置との通信により前記比較用カタログをネットワークを介してバイヤ用装置に送信する比較用カタログ送信手段とを有することを要旨とする。

【0015】請求項3記載の本発明にあっては、電子カタログプラットフォームはバイヤ用装置から受信した入札対象情報に基づき入札用カタログを作成して各サプライヤ用装置に送信し、入札用カタログに対して各サプライヤ用装置から受信した入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値をサプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用して各サプライ

や毎の合計ポイントを算出し、この合計ポイントおよび
 閾値に基づきサプライヤ候補を選定し、このサプライヤ
 候補の入札カタログを統合加工して比較用カタログを作
 成してバイヤ用装置に送信するため、従来のように価格
 のみの比較や経験と勘に頼ったサプライヤの選定でな
 く、サプライヤ選定用テンプレートによりサプライヤの
 絞込みを適確に行うことができる。

【0016】請求項4記載の本発明は、バイヤ用装置
 が、前記比較用カタログを受信し、この比較用カタログ
 に記載された各入札パラメータの内容に基づき前記サブ
 ライヤ候補を更に絞り込むための絞込み情報を電子カタ
 ログプラットフォームに送信して再入札を依頼する再入
 札依頼手段を有し、前記電子カタログプラットフォーム
 は、更にバイヤ用装置から前記絞込み情報を受信し、こ
 の絞込み情報と前記サプライヤ選定用テンプレートに基
 づき前記サプライヤ候補の各々の合計ポイントを算出
 し、この各サプライヤ候補の合計ポイントに基づき再入
 札サプライヤ候補を選定し、この選定した再入札サブ
 ライヤ候補の入札カタログを統合および加工して再入札用
 カタログを作成する再入札用カタログ作成手段と、本シ
 ステムと前記再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置
 との通信により前記再入札用カタログをネットワークを
 介して各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置に送
 信する再入札用カタログ送信手段と、前記再入札用カタ
 ログに対する再入札カタログを各再入札サプライヤ候補
 のサプライヤ用装置からネットワークを介して受信する
 再入札カタログ受信手段と、この受信した再入札カタ
 ログを前記入札カタログと見なして、前記比較用カタ
 ログ作成、比較用カタログ送信手段、再入札依頼手段、再入
 札用カタログ作成手段、再入札カタログ送信手段、再入
 札カタログ受信手段で実施される処理に適用して、該処
 理を繰り返し行うことにより、バイヤの入札対象に対し
 て最適なサプライヤを選定する最適サプライヤ選定手段
 と、この選定された最適なサプライヤの入札カタログに
 基づき落札カタログを作成する落札カタログ作成手段
 と、入札対象カタログ情報、スペック情報、画像情報に
 基づいて購買システム用カタログを作成する購買シス
 テム用カタログ作成手段とを有することを要旨とする。

【0017】請求項4記載の本発明にあっては、バイヤ
 用装置からのサプライヤ候補絞込み情報とサプライヤ選
 定用テンプレートに基づき各サプライヤ候補の合計ポ
 イントを算出し、この合計ポイントに基づき再入札サブ
 ライヤ候補を選定し、この再入札サプライヤ候補の入札
 カタログを統合加工して再入札用カタログを作成して各再
 入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置に送信し、再入
 札カタログを各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装
 置から受信し、この再入札カタログを前記入札カタ
 ログと見なして、上記処理を繰り返し行うことにより最適
 なサプライヤを選定するとともに、また購買システム用カ
 タログを作成するため、従来のように価格のみの比較や

経験と勘に頼ったサプライヤの選定でなく、サプライヤ
 選定用テンプレートによりサプライヤの絞込みを適確に
 行い、最適なサプライヤを効率的かつ迅速に選択できる
 とともに、従来のような1品目単位や少数品目単位でな
 く、例えば数万件品目規模のような大量品目の一括入
 札も迅速かつ効率的に行うことができる。また、カタログ
 作成、入札結果の取りまとめ、選定結果公示などを含む
 各処理をすべてリンクさせ、従来のような紙ベースでな
 く、ネットワークを介してオンラインで自動的に行うた
 め、従来に比較して各業務を大幅に改善できるととも
 に、莫大な期間と費用を削減することができる。

【0018】更に、請求項5記載の本発明は、複数のメ
 ータのスペックカタログ情報に基づき最適なメーカーを選
 定すべく支援するとともに、バイヤからネットワークを
 介して入力される入札対象情報に対して入札を行う複数
 のサプライヤが各サプライヤ用装置からネットワークを
 介して入力する各入札カタログ情報に基づき最適なサブ
 ライヤを選定すべく支援する電子入札代行システムであ
 って、バイヤから受信した入札対象情報に基づきスベ
 ック比較用カタログを作成し、本システムと各メーカー用装
 置との通信により前記スペック比較用カタログをネット
 ワークを介して各メーカー用装置に送信するスペック比較
 用カタログ作成手段と、前記スペック比較用カタログに
 対して各メーカーでデータを入力したデータ入力済みスベ
 ック比較用カタログを各メーカーからネットワークを介し
 て受信し、この受信した各メーカーのデータ入力済みスベ
 ック比較用カタログを統合および加工し、統合加工済み
 比較用カタログをバイヤに供給する統合加工済み比較用
 カタログ作成手段と、この統合加工済み比較用カタログ
 に基づきバイヤにおいて当該比較用カタログに記載され
 ている情報を基にメーカーの絞込みを行ってメーカーを選
 定した結果を受け取って、選定結果カタログを作成し、各
 メーカーに対して該選定結果カタログを閲覧可能にする選
 定結果カタログ作成手段と、前記入札対象情報に基づき
 作成した入札用カタログを本システムと各サプライヤ用
 装置との通信によりネットワークを介して前記選定され
 たメーカーの入札対象を供給している各サプライヤ用装置
 に送信する入札用カタログ送信手段と、前記入札用カタ
 ログに対する各サプライヤ用装置から受信した入札カタ
 ログに記載されている各入札パラメータに基づきサブ
 ライヤ候補を選定し、この選定したサプライヤ候補の入
 札カタログを統合および加工して比較用カタログを作成す
 る比較用カタログ作成手段と、本システムと前記バイヤ
 用装置との通信により前記比較用カタログをネット
 ワークを介してバイヤ用装置に送信し、この比較用カタ
 ログに記載された各入札パラメータの内容に基づき前記サブ
 ライヤ候補を更に絞り込むための絞込み情報とともにバ
 イヤ用装置から送信される再入札依頼を受信し、この絞
 込み情報に基づき前記サプライヤ候補から再入札サブ
 ライヤ候補を選定し、この選定した再入札サプライヤ候補

の入札カタログを統合および加工して再入札用カタログを作成する再入札用カタログ作成手段と、本システムと前記再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置との通信により前記再入札用カタログをネットワークを介して各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置に送信し、この再入札用カタログに対する再入札カタログを各再入札サプライヤ候補のサプライヤ用装置からネットワークを介して受信する再入札カタログ受信手段と、この受信した再入札カタログを前記入札カタログと見なして、前記比較用カタログ作成手段、再入札用カタログ作成手段、再入札カタログ受信手段で実施される処理に適用して、該処理を繰り返し行うことにより、バイヤの入札対象に対して最適なサプライヤを選定する最適サプライヤ選定手段と、この選定された最適なサプライヤの入札カタログに基づき落札カタログを作成する落札カタログ作成手段と、入札対象カタログ情報、スペック情報、画像情報に基づいて購買システム用カタログを作成する購買システム用カタログ作成手段とを有することを要旨とする。

【0019】請求項5記載の本発明にあっては、バイヤからの入札対象情報から作成したスペック比較用カタログを各メーカ用装置に送信して、データ入力済みスペック比較用カタログを各メーカから受信し、このスペック比較用カタログを統合加工して作成した比較用カタログに基づきバイヤにおいてメーカを選定した結果を受け取って作成した選定結果カタログを各メーカに閲覧可能にし、入札対象情報に基づく入札用カタログを前記選定したメーカの入札対象を供給している各サプライヤ用装置に送信し、各サプライヤ用装置からの入札カタログの各入札パラメータに基づきサプライヤ候補を選定し、このサプライヤ候補の入札カタログを統合加工して比較用カタログを作成し、バイヤ用装置に送信し、この比較用カタログの各入札パラメータに基づきサプライヤ候補を更に絞り込むためのバイヤ用装置からの絞り込み情報に基づき再入札サプライヤ候補を選定し、再入札用カタログを作成し、この再入札用カタログに対する再入札カタログを受信し、この再入札カタログを前記入札カタログと見なして、上記処理を繰り返し行うことにより、最適なサプライヤを選定するとともに、また購買システム用カタログを作成するため、従来のように価格のみの比較や経験と勘に頼ったサプライヤの選定でなく、サプライヤ選定用テンプレートによりサプライヤの絞り込みを適確に行い、最適なサプライヤを効率的かつ迅速に選択できるとともに、従来のような1品目単位や少数品目単位でなく、例えば数万件品目規模のような大量品目の一括入札も迅速かつ効率的に行うことができる。また、カタログ作成、入札結果の取りまとめ、選定結果公示などを含む各処理をすべてリンクさせ、従来のような紙ベースでなく、ネットワークを介してオンラインで自動的に行うため、従来に比較して各業務を大幅に改善できるとともに、莫大な期間と費用を削減することができる。

【0020】請求項6記載の本発明は、請求項1乃至4のいずれか1項に記載の本発明において、前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用される各入札パラメータの値を基本して関係する値は、前記入札対象に対する各サプライヤからの今回の入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を少なくとも含み、必要により前回の入札カタログおよび今回の再入札カタログに記載されている各入札パラメータの値、過去の実績データ、バイヤによるサプライヤ選定履歴データ、落札カタログデータ、バイヤの販売実績データ、サプライヤの販売実績データの1つ以上を必要により含むことを要旨とする。

【0021】請求項6記載の本発明にあっては、今回の入札カタログ、前回の入札カタログ、過去の実績データ、サプライヤ選定履歴データ、落札カタログデータ、販売実績データのいずれかをサプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用して各サプライヤの合計ポイントを算出している。

【0022】また、請求項7記載の本発明は、請求項1乃至6のいずれか1項に記載の本発明において、前記入札パラメータが、入札対象の価格、割引率、納期の少なくともいずれか1つ以上を含むことを要旨とする。

【0023】請求項7記載の本発明にあっては、入札パラメータは入札対象の価格、割引率、納期の少なくともいずれか1つ以上を含むものである。

【0024】

【発明の実施の形態】以下、図面を用いて本発明の実施の形態を説明する。図1は、本発明の一実施形態に係わる電子入札代行システムの構成を示す図である。同図に示す本実施形態の電子入札代行システムは、電子カタログプラットフォーム(PF)1を有し、この電子カタログプラットフォーム1にはバイヤのバイヤ用装置3、メーカのメーカ用装置5、サプライヤのサプライヤ用装置7がインターネット9を介して接続されている。

【0025】電子カタログプラットフォーム1は、スペック比較用検索サーバ11、スペック比較用データベース(DB)13、入札用サーバ15、入札用カタログデータベース17、比較用カタログデータベース19、購買システム用カタログデータベース21を有する。

【0026】なお、以下の説明では、各種カタログを含む各情報の電子カタログプラットフォーム1とバイヤ用装置3、メーカ用装置5、およびサプライヤ用装置7間におけるやり取りをダウンロードまたはアップロードという用語を用いて説明しているが、各図面上ではダウンロードに対応して受信を行い、アップロードに対応して送信を用いていることを注意されたい。また、電子カタログプラットフォーム1とバイヤ用装置3、メーカ用装置5、およびサプライヤ用装置7は、個々に独立した装置であることから、それぞれに対応するプログラムも独

立して動作し、また流通せしめることが可能である。

【0027】このように構成される本実施形態の電子入札代行システムの全体の流れについて簡単に説明する。

まず、電子カタログブラットフォーム1は、バイヤ用装置3からインターネット9を介して入力されるどの商品を入札対象とするかという品目登録に応答し、各メーカーのメーカー用装置5に対してインターネット9を介してスペック情報提供依頼を行い、各メーカー用装置5からスペック情報を収集する(処理1-3)。電子カタログブラットフォーム1は、スペック情報の収集を完了すると、

スペック情報収集完了情報をインターネット9を介してバイヤ用装置3に送信する(処理4)。
【0028】バイヤ用装置3は、電子カタログブラットフォーム1からのスペック情報収集完了情報の受信に回答して、電子カタログブラットフォーム1が各メーカー用装置5から収集したスペック情報を検索し、この検索結果に基づき対象入札アイテムを選択する(処理5-7)。

【0029】電子カタログブラットフォーム1は、バイヤ用装置3が選択した入札対象アイテムに基づき入札を各サプライヤ用装置7に対して開始し(処理8)、まず入札用カタログをインターネット9を介して各サプライヤ用装置7に配布する(処理9)。各サプライヤ用装置7は、電子カタログブラットフォーム1から入札用カタログを受信すると、この入札用カタログに新価格などのデータを記入し(処理10)、このデータを記入した入札用カタログを電子カタログブラットフォーム1へアグリゲーション(集積)する(処理11)。

【0030】電子カタログブラットフォーム1は、各サプライヤ用装置7からアグリゲーションした入札用カタログから比較用カタログを生成して比較用カタログデータベース19に格納し、バイヤ用装置3に対してサプライヤ絞り込み検索を依頼する(処理12)。バイヤ用装置3は、この検索依頼に対して絞り込んだサプライヤの情報、新価格情報などの絞り込み情報を電子カタログブラットフォーム1に通知する(処理13)。電子カタログブラットフォーム1は、このバイヤ用装置3からの絞り込み情報に基づくスペック情報提供依頼を各サプライヤ用装置7に行い(処理14)、これに対してサプライヤ用装置7から送付されるスペック情報を受信して(処理15)、

購買システム用カタログを作成し、この購買システム用カタログをバイヤ用装置3の購買システム3aに送信する(処理16)。
【0031】次に、図2および図5を参照して、本実施形態の電子入札代行システムにおける入札用カタログ作成・配信からサプライヤ選定支援、結果公示、購買システム用カタログ作成に至る処理について説明する。なお、図2に示すように、電子カタログブラットフォーム1は、図1で示したスペック比較用データベース13、入札用カタログデータベース17、比較用カタログデー

タベース19、購買システム用カタログデータベース21に加えて、再入札用カタログデータベース23、比較用カタログデータベース25、落札カタログデータベース27を更に有している。

【0032】この処理においては、電子カタログブラットフォーム1がサプライヤ用装置7から入札カタログや再入札カタログを受け取った場合に、この入札カタログや再入札カタログに記載されている例えば価格、割引率、納期などのような各入札パラメータの値に基づいて各サプライヤ毎の評価点であるポイントの合計を算出し、この合計ポイントに基づいてサプライヤを絞り込んで選定するためのサプライヤ選定用テンプレートを使用するが、このサプライヤ選定用テンプレートについて図3を参照して最初に説明する。

【0033】サプライヤ選定用テンプレートは、入札対象毎または入札対象グループ毎に設定され、図3に示すように、入札対象の価格、割引率、納期などのような各入札パラメータに対応して、入札パラメータの値を計算する計算式、各入札パラメータの値を区分けした複数のレンジ、各入札パラメータの各レンジにおける値を評価するポイント、および各入札パラメータの値の最低ラインを設定した閾値を設定している。

【0034】図3では、例えば価格に対しては、レンジを「0~2,000」「2,001~3,000」「3,001~」の3つのレンジに区分けし、「0~2,000」に対してはポイントとして10を設定し、「2,001~3,000」に対してはポイントとして5を設定し、「3,001~」に対してはポイントとして2を設定している。また、最低ラインの閾値を3,500までとしている。すなわち、ある入札対象である商品の価格が2,500であるとすると、この商品のポイントは5点となり、閾値の3,500をクリアしていることになる。

【0035】また、入札パラメータの割引率は、計算式として前回価格から今回価格を引いた差額を前回価格で割るという式を設定し、レンジを「7%~」「4%~7%」「~4%」に区分けし、また納期に対しては、「~5日」「6日~」に区分けし、これらの区分けした各レンジ毎にポイントを設定している。

【0036】従って、入札対象である商品の価格、割引率、納期などの各入札パラメータが入札カタログや再入札カタログに記載されているデータから分かると、これらの各入札パラメータの値を図3に示すサプライヤ選定用テンプレートに適用し、各入札パラメータ毎のポイントを合成すると、当該商品の合計ポイントを算出することができる。この合計ポイントを各サプライヤ毎に算出して比較することにより、複数のサプライヤを絞り込みことができ、ポイントの一番高いサプライヤを最適なサプライヤとして選択することができることになる。なお、合計ポイントが図3に示すような閾値である最低50ポ

イント以上ない場合には、この商品を入札しているサプライヤは入札から削除されることになる。

【0037】なお、図3に示すサプライヤ選定用テンプレートから入札対象に対する各サプライヤ毎の合計ポイントを算出するために、サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用される値は、上述したように入札カタログや再入札カタログに記載されている入札対象の各入札パラメータの値のみでなく、正確には入札対象に対して各サプライヤから提供される入札カタログや再入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値、具体的には入札対象に対する各サプライヤからの今回の入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を少なくとも含み、必要により前回の入札カタログおよび今回の再入札カタログに記載されている各入札パラメータの値、過去の実績データ、過去の履歴情報、バイヤによるサプライヤ選定履歴データ、落札カタログデータ、バイヤの販売実績データ、サプライヤの販売実績データなどの情報を1つ以上必要により含むものである。

【0038】例えば、サプライヤ選定用テンプレートの入札パラメータとして、入札価格下げ幅や、製品毎前年比割引率などがある場合、入札価格下げ幅は、前回の入札カタログまたは前回の入札カタログから作成した比較用カタログに記載されている前回の入札価格から今回の入札カタログまたは今回の入札カタログから作成した比較用カタログに記載されている今回の入札価格を減算することにより算出され、また製品毎前年比割引率は、実績データとして蓄積されている前回出荷数に今回の入札カタログまたは今回の入札カタログから作成した比較用カタログに記載されている今回の入札価格を掛けた金額を実績データとして蓄積されている前回出荷合計金額から減算した差額を実績データとして蓄積されている前回出荷合計金額で割算して算出されることになる。

【0039】すなわち、本実施形態の電子カタログプラットフォーム1は、入札対象に対して各サプライヤから提供される入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値を前記サプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する合計ポイント算出手段を有しているものである。この各サプライヤ毎の合計ポイント及び閾値に基づき、最適なサプライヤを選定することができる。

【0040】また、本実施形態では、各サプライヤからの入札カタログや再入札カタログに記載されている各入札パラメータの値の分布の偏差値および広がりを含む要素に基づき図3に示すサプライヤ選定用テンプレートのレンジ、ポイント、閾値を補正して最適なサプライヤを選定するようになっている。このために、入札対象に

対して各サプライヤが提供する各入札カタログや再入札カタログに記載されている各入札パラメータの値の各サプライヤ毎の分布を図4に示すように作成し、この分布からサプライヤ選定用テンプレートのレンジ、ポイント、閾値を補正するようにしている。

【0041】図4(a)、(b)、(c)に示す分布は、各サプライヤからの入札カタログや再入札カタログに記載されている入札パラメータである例えば価格、割引率、納期の各サプライヤ毎の分布を示している。そして、このような分布から、当該分布が広がっているか狭まっているかまたは偏差値はどうなっているかなどのような該分布の偏差値や広がりを含む幾つかの要素が分かるが、このような偏差値や広がりを含む要素に基づき図3のサプライヤ選定用テンプレートのレンジ、ポイント、閾値を補正するようになっている。

【0042】例えば、図4に示すような分布のうち、例えば価格の分布から価格のレンジ分けが上述した「0～2,000」「2,001～3,000」「3,001～」のレンジ分けよりも、例えば「0～1,500」「1,501～2,000」「2,001～」のようなレンジ分けが適していると判明した場合には、図3のサプライヤ選定用テンプレートに示すようにレンジが補正されることになる。

【0043】なお、図4に示す分布において、点線で示す縦線は選定した結果の値を示しているものである。具体的には、選定したサプライヤの入札カタログや再入札カタログに記載されている価格、割引率、納期などのような各入札パラメータの値を示しているものであり、例えば図4(c)に示す納期の分布からは、納期はかなり短納期のものが選択されたことになる。

【0044】すなわち、本実施形態の電子カタログプラットフォーム1は、入札対象に対して各サプライヤが提供する各入札カタログ情報に記載されている各入札パラメータの値の各サプライヤ毎の分布を作成する分布作成手段と、この作成された各入札パラメータの値の分布の偏差値および広がりを含む要素に基づきサプライヤ選定用テンプレートのレンジ、ポイント、閾値を補正する補正手段と、入札対象に対して各サプライヤから提供される入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値をサプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用してサプライヤ選定用テンプレートの各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する合計ポイント算出手段と、この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントおよび閾値に基づきサプライヤを選定するサプライヤ選定手段とを有するものである。

【0045】上述したサプライヤ選定用テンプレートをを用いてサプライヤを選定する処理、詳しくは入札用カタログ作成・配信からサプライヤ選定支援、結果公示、購

買システム用カタログ作成に至る処理について図2および図5を参照して説明する。なお、図2および図5において、同じ処理には同じステップ番号を付している。

【0046】まず、バイヤ用装置3は、入札対象情報である入札対象カタログ情報をインターネット9を介して電子カタログブラットフォーム1に送信する(図2のステップS1)。電子カタログブラットフォーム1は、この入札対象カタログ情報を受信すると、この情報に基づき入札用カタログを作成する(ステップS3)。そして、入札用カタログの作成が完了した通知をインターネット9を介して各サプライヤ用装置7に送信する(ステップS5)。

【0047】各サプライヤ用装置7は、入札用カタログの作成完了通知を受けると、インターネット9を介して電子カタログブラットフォーム1にアクセスして、入札用カタログを電子カタログブラットフォーム1からダウンロードする(ステップS7)。

【0048】各サプライヤ用装置7は、入札用カタログをダウンロードすると、この入札用カタログに対する入札カタログを作成し、この入札カタログを各サプライヤ用装置からインターネット9を介して電子カタログブラットフォーム1にアップロードする(図2、図5のステップS13)。

【0049】電子カタログブラットフォーム1は、図5に示すように、各サプライヤ用装置7から入札カタログ53を受信すると、サプライヤ選定用テンプレートであるサプライヤ絞り込みテンプレート51(図5)からサプライヤ絞り込み条件を読み込み(図5のステップS101)、受信した入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を基本として関係する値、具体的には、上述したように入札対象に対する各サプライヤからの今回の入札カタログに記載されている各入札パラメータの値を少なくとも含み、必要により前回の入札カタログおよび今回の再入札カタログに記載されている各入札パラメータの値、過去の実績データ、過去の履歴情報、バイヤによるサプライヤ選定履歴データ、落札カタログデータ、バイヤの販売実績データ、サプライヤの販売実績データなどの値をサプライヤ絞り込みテンプレート51の計算式に適用してサプライヤ絞り込みテンプレート51の各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する(ステップS103)。

【0050】そして、この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントが閾値以上であるか否かを判定し(ステップS105)、閾値以上でない場合には、落選通知をサプライヤに行い(ステップS107)、当該サプライヤは落選通知を受信する(ステップS109)。閾値以上の場合には、この算出した各サプライヤ毎の合計ポイントを格納する(ステップS111)。また、各サプライヤ

毎の合計ポイントに基づきサプライヤ候補を選定し、この選定したサプライヤ候補の入札カタログを統合および加工して(図2のステップS15)、比較用カタログを作成して比較用カタログデータベース19に格納するとともに、比較用カタログの完了通知、アップロードログの通知をバイヤ用装置3に行う(ステップS17)。

【0051】バイヤ用装置3は、電子カタログブラットフォーム1との通信により比較用カタログを受信すると、この比較用カタログに記載された価格、納期、在庫などの各入札パラメータの内容に基づきサプライヤ候補を更に絞り込むためのサプライヤ絞り込み検索を行い(ステップS21)、この絞り込み検索キー55を電子カタログブラットフォーム1に入力する(ステップS121)。

【0052】電子カタログブラットフォーム1は、バイヤ用装置3からサプライヤ絞り込み検索キーを受信すると、サプライヤ絞り込みテンプレート51からサプライヤ絞り込み条件を読み込み(ステップS123)、サプライヤ絞り込みテンプレート51の各入札パラメータに実績データ、前回入札カタログ、比較用カタログなどに記載されている値を適用して各入札パラメータの値を計算し、この計算した値が属するレンジに対応するポイントをすべての入札パラメータについて加算して各サプライヤ毎の合計ポイントを算出する(ステップS125)。そして、この各サプライヤ毎の合計ポイントに基づいて絞り込み検索結果を生成して表示し(ステップS127)、この絞り込み検索結果をバイヤ用装置3に閲覧し得るように提示する(ステップS129)。

【0053】バイヤ用装置3は、電子カタログブラットフォーム1から提示された絞り込み検索結果に基づき再入札対象サプライヤを選択し(ステップS131)、この再入札対象サプライヤ選択結果を電子カタログブラットフォーム1に通知するとともに、再入札依頼を行う。電子カタログブラットフォーム1は、この再入札対象サプライヤ選択結果および再入札依頼を受け取ると(ステップS133)、この選択された再入札対象サプライヤの入札カタログを統合および加工して再入札用カタログを作成する(ステップS25、S141)。

【0054】電子カタログブラットフォーム1は、再入札用カタログの作成を完了すると、その完了通知を再入札要求およびコメント通知とともにサプライヤ用装置7に行う(ステップS25、S143、S145)。なお、コメントとは、各サプライヤの入札カタログを評価した結果として、サプライヤの各入札パラメータのうち、あるパラメータである例えば価格の評価ポイントが高い場合などには、もう少し安くしないと入札から落ちてしまいますよというようなアドバイスをサプライヤに与えるものである。

【0055】サプライヤ用装置7は、再入札用カタログの完了通知を再入札要求およびコメント通知とともに受

け取ると(ステップS29、S147)、この再入札用カタログに基づいて再入札カタログを作成し、当該再入札カタログを電子カタログプラットフォーム1にアップロードする(ステップS31、S13)。

【0056】電子カタログプラットフォーム1は、サプライヤ用装置7から再入札カタログを受信すると、この再入札カタログを統合および加工して比較用カタログを作成し、この比較用カタログの作成完了通知およびアップロードログの通知をバイヤ用装置3に対して行う(ステップS35)。

【0057】バイヤ用装置3は、この比較用カタログの作成完了通知に応じて比較用カタログを受け取り、この比較用カタログに記載された価格、納期、在庫などの各入札パラメータの内容に基づき上述したと同様にサプライヤ候補を更に絞り込み処理を落札先が決定するまで繰り返し行い(ステップS149)、最終的に決定したサプライヤ選定結果を電子カタログプラットフォーム1に送信してくる(ステップS37)。

【0058】電子カタログプラットフォーム1は、バイヤ用装置3からのサプライヤ選定結果を受信すると、この選定されたサプライヤについての落札カタログを作成して落札カタログデータベース27に格納するとともに(ステップS39)、落札カタログの作成完了をすべてのサプライヤ用装置7に通知する(ステップS41)。サプライヤ用装置7は、電子カタログプラットフォーム1からの落札カタログの作成完了通知に応じて電子カタログプラットフォーム1にアクセスし、落札カタログをダウンロードして受け取り、閲覧する(ステップS43)。また、電子カタログプラットフォーム1は、このダウンロードログをバイヤ用装置3に通知し(ステップS45)、バイヤ用装置3はこのダウンロードログを受信する(ステップS47)。

【0059】一方、選定されたサプライヤ用装置7は、閲覧した落札カタログに基づいてスペック情報および画像情報を作成して電子カタログプラットフォーム1にアップロードする(ステップS49)。電子カタログプラットフォーム1は、このアップロードされたスペック情報および画像情報に加えて入札対象カタログ情報に基づき購買システム用カタログを作成し(ステップS51)、その作成完了をバイヤ用装置3に通知する(ステップS53)。バイヤ用装置3は、この通知に回答して購買システム用カタログを受信し(ステップS55)、この購買システム用カタログをバイヤ用装置3の購買システム3aに適用し、これにより入札対象の購買を行う。

【0060】次に、図6を参照して、本実施形態のスペック比較用カタログ作成、メーカ選定支援、選定結果公示に関する処理について詳しく説明する。

【0061】図6では、バイヤ用装置3がまずスペック比較対象カタログ情報を電子カタログプラットフォーム

1にアップロードする(ステップS201)。電子カタログプラットフォーム1は、バイヤ用装置3からスペック比較対象カタログ情報を受信すると、この情報に基づいてスペック比較用カタログを作成し(ステップS203)、この作成完了通知を各メーカ用装置5に対して行う(ステップS205)。

【0062】各メーカ用装置5は、電子カタログプラットフォーム1から通知を受けると、電子カタログプラットフォーム1からスペック比較用カタログをダウンロードする(ステップS207)。各メーカ用装置5がスペック比較用カタログのダウンロードを行うと、電子カタログプラットフォーム1はこのダウンロードログをバイヤ用装置3に通知し(ステップS209)、バイヤ用装置3は当該ダウンロードログを受領する(ステップS211)。

【0063】各メーカ用装置5は、スペック比較用カタログをダウンロードすると、このスペック比較用カタログにデータを入力して、電子カタログプラットフォーム1にアップロードする(ステップS213)。

【0064】電子カタログプラットフォーム1は、各メーカ用装置5からデータの入力されたスペック比較用カタログを受信すると、これを統合および加工して、比較用カタログを作成し、この比較用カタログの作成完了の通知およびアップロードログの通知をバイヤ用装置3に行う(ステップS217)。

【0065】バイヤ用装置3は、比較用カタログを受信すると、この比較用カタログに記載されている入札対象の例えば色、サイズなどの情報に基づきメーカの絞り込みを行い(ステップS219)、このメーカ選定結果を電子カタログプラットフォーム1に送信する(ステップS221)。

【0066】電子カタログプラットフォーム1は、バイヤ用装置3からのメーカ選定結果に基づき選定結果カタログを作成し(ステップS223)、この作成完了通知を各メーカ用装置5に行う(ステップS225)。各メーカはこの選定結果カタログをダウンロードして閲覧する。また、電子カタログプラットフォーム1は、メーカによる当該ダウンロードログをバイヤ用装置3に通知し(ステップS229)、バイヤ用装置3はこのダウンロードログを受領する(ステップS231)。

【0067】なお、上記実施形態では、入札用カタログ、入札カタログ、比較用カタログ、再入札用カタログ、再入札カタログ、落札カタログ、購買システム用カタログなどの各種情報をダウンロードしたり、またはアップロードするように記載しているが、本発明は、これに限定されるものでなく、例えばWWWブラウザ上で参照して、これにより上記各種情報を入力するようにしてもよいものである。なお、上記実施形態においては、各バイヤおよび各サプライヤは本電子入札代行システムに

1に対するアクセスにおいて電子カタログプラットフォーム1と連携してそれぞれユーザ認証を行い、これによりユーザ認証の強度を高めようになっているものである。

【0068】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、各入札パラメータの計算式、レンジ、評価ポイント、閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートを設け、このサプライヤ選定用テンプレートの計算式に各サプライヤからの各入札パラメータの値を基本として関係する値を適用して各サプライヤ毎の合計ポイントを出し、この合計ポイントおよび閾値に基づき最適なサプライヤを選定するので、従来のように価格のみの比較や経験と勘に頼ったサプライヤの選定でなく、

10

サプライヤ選定用テンプレートによりサプライヤの絞込みを適確に行い、最適なサプライヤを効率的かつ迅速に選択できるとともに、また従来のような1品目単位や少数品目単位でなく、例えば数万品目規模のような大量品目の一括入札も迅速かつ効率的に行うことができる。

20

【0069】本発明によれば、各入札パラメータの計算式、レンジ、評価ポイント、閾値を各入札対象毎に設定しているサプライヤ選定用テンプレートを設け、このサプライヤ選定用テンプレートを各サプライヤの各入札パラメータ毎の分布に基づき補正し、このサプライヤ選定用テンプレートの計算式に各サプライヤからの各入札パラメータの値を基本として関係する値を適用して各サプライヤ毎の合計ポイントを出し、この合計ポイントおよび閾値に基づき最適なサプライヤを選定するので、従来のように価格のみの比較や経験と勘に頼ったサプライヤの選定でなく、

30

サプライヤ選定用テンプレートによりサプライヤの絞込みを適確に行い、最適なサプライヤを効率的かつ迅速に選択できるとともに、また従来のような1品目単位や少数品目単位でなく、例えば数万品目規模のような大量品目の一括入札も迅速かつ効率的に行うことができる。

40

【0070】また、本発明によれば、電子カタログプラットフォームは入札対象情報から作成した入札用カタログに対する入札カタログに記載の各入札パラメータの値を基本として関係する値をサプライヤ選定用テンプレートの計算式に適用して算出した各サプライヤの合計ポイントおよび閾値に基づきサプライヤ候補を選定するので、従来のように価格のみの比較や経験と勘に頼ったサプライヤの選定でなく、

【0071】更に、本発明によれば、パイヤ用装置からのサプライヤ候補絞込み情報とテンプレートに基づき各サプライヤ候補の合計ポイントを出し、再入札サプライヤ候補を選定し、再入札サプライヤ候補の入札カタログから作成した再入札用カタログに対する再入札カタログを前記入札カタログと見なし、上記処理を繰り返し行うことにより最適なサプライヤを選定するので、従来のように価格のみの比較や経験と勘に頼ったサプライヤの選定でなく、

サプライヤ選定用テンプレートによりサプライヤの絞込みを論理的かつ適確に行うことが、最適なサプライヤを効率的かつ迅速に選択できるとともに、従来のような1品目単位や少数品目単位でなく、例えば数万品目規模のような大量品目の一括入札も迅速かつ効率的に行うことができる。また、カタログ作成、入札結果の取りまとめ、選定結果公示などを含む各処理をすべてリンクさせ、従来のような紙ベースでなく、ネットワークを介してオンラインで自動的に行い、これにより従来に比較して各業務を大幅に改善できるとともに、莫大な期間と費用を削減することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係わる電子入札代行システムの構成を示す図である。

【図2】図1に示す電子入札代行システムにおける入札用カタログ作成・配信からサプライヤ選定、結果公示、購買システム用カタログ作成に関わる処理を説明するための図である。

【図3】図2に示したサプライヤ選定に使用されるサプライヤ選定用テンプレートの例を示す図である。

【図4】図3に示したサプライヤ選定用テンプレートの最適化に使用される各入札パラメータの各サプライヤ毎の分布を示すグラフである。

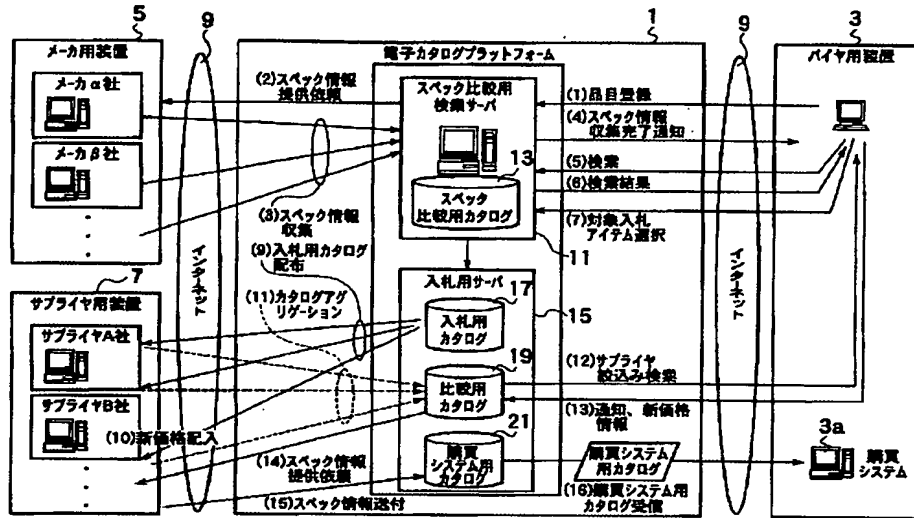
【図5】図2に示した入札用カタログ作成・配信からサプライヤ選定、結果公示、購買システム用カタログ作成に関わる処理を示すフローチャートである。

【図6】図1に示す電子入札代行システムにおけるスベック比較用カタログ作成、メーカ選定支援、選定結果公示に関わる処理を説明するための図である。

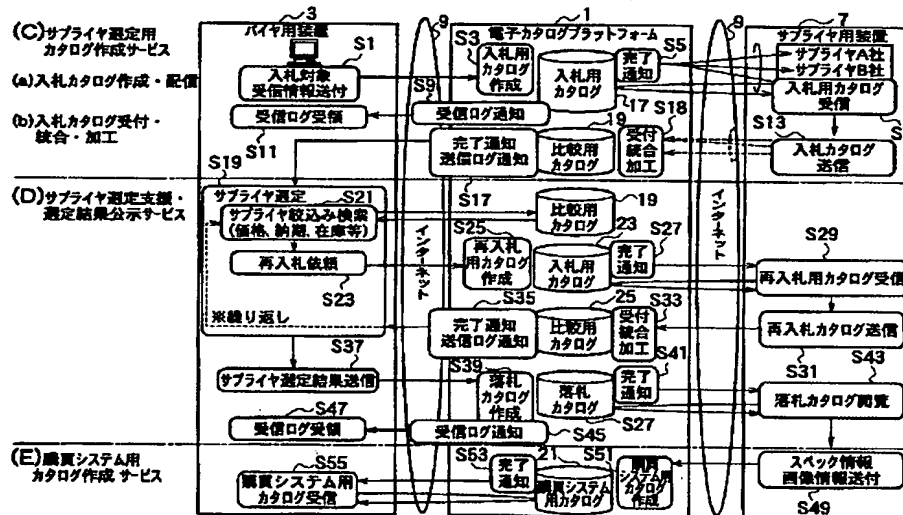
【符号の説明】

- 1 電子カタログプラットフォーム
- 3 パイヤ用装置
- 5 メーカ用装置
- 7 サプライヤ用装置
- 9 インターネット

【図1】



【図2】

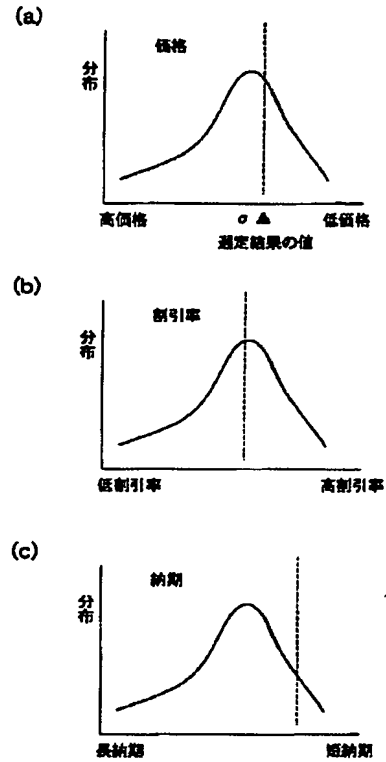


【図3】

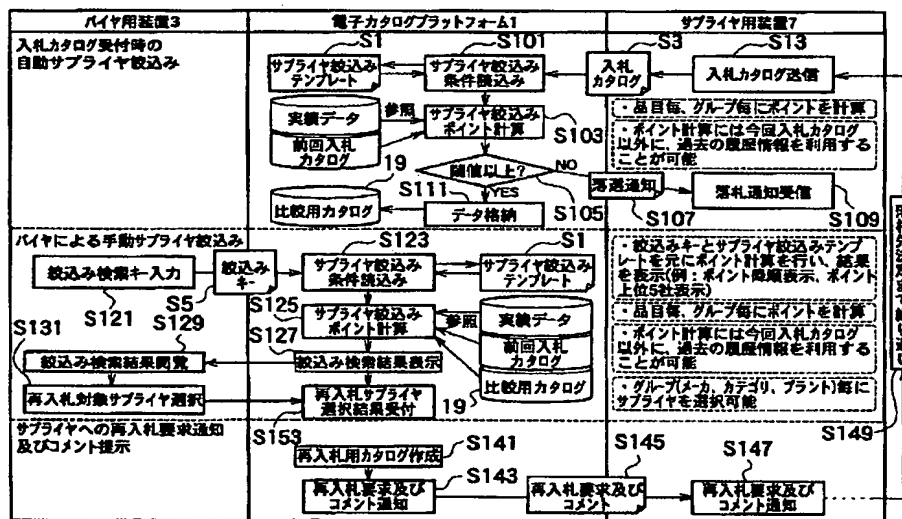
サプライヤ設定用テンプレート

パラメータ	式	レンジ	ポイント	閾値(最低ライン)
価格	=価格	0~2,000 →0~1,500	(2) 10	~3,500
		2,001~3,000 →1,501~2,000	5	
		3,001~ →2,001~	2	
割引率	前回価格-今回価格 前回価格	7%~	10	(3) 8% →10%
		4%~7%	5	
		~4%	2	
納期	=納期	~5日	5→7	(1) ~9日
		6日~	2→3	
.....				
合計ポイント	Σ(各ポイント)			最低50ポイント以上

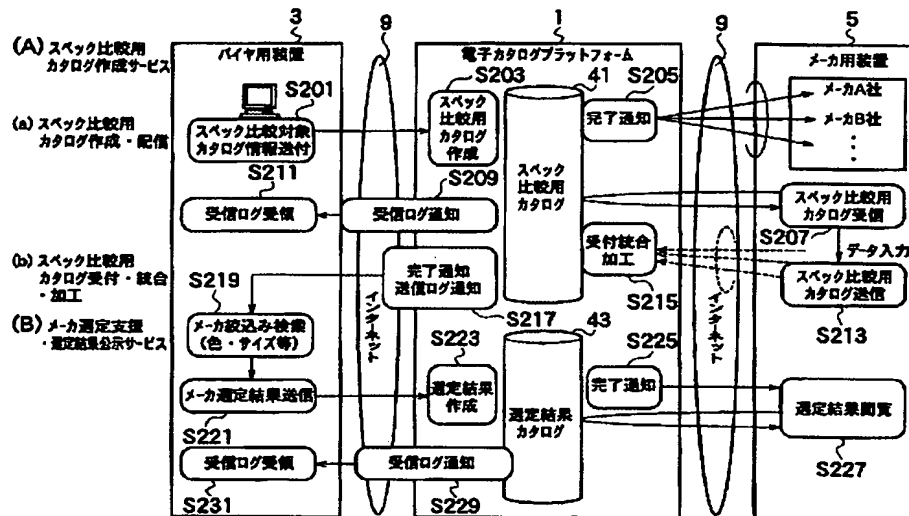
【図4】



【図5】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 角田 進
東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 エ
ヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株
式会社内

(72)発明者 春日 良一
東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 エ
ヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株
式会社内

(72)発明者 伏見 修
東京都千代田区内幸町一丁目1番6号 エ
ヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株
式会社内

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.